

PCI DSSソリューション



割賦販売法改正により PCI DSS義務化の流れに！

2016年12月の割賦販売法改正で指定されている
クレジットカード番号等への適切な保護措置とは、
PCI DSSに準拠すること！

Tripwire Enterprise は企業の PCI DSS準拠を強力にサポートします！

ポリシー機能例



レポート機能例



製品標準装備の『ポリシーテンプレート』を活用することにより、監視対象の設定がPCI DSSに準拠しているかを確認できます。
また、変更状況やポリシー対応状況を定期的にレポート出力することにより、コンプライアンスレポートの対応についても支援します。

PCI DSSの対応を支援するTripwire Enterprise

要件	概要	Tripwire Enterpriseがサポートする内容
安全なネットワークの構築と維持		
要件1	カード会員データを保護するためにファイアウォールをインストールして構成を維持する	ネットワーク機器の重要な設定の整合性監視と、ネットワーク機器が守るべきセキュリティポリシーを可視化します。
要件2	システム・パスワードおよび他のセキュリティ・パラメータにベンダ提供のデフォルトを使用しない	ベンダ提供のデフォルト値、不要なデフォルトアカウントの利用、アクセス制御、プロトコル設定、監査/ログ設定、特権などの領域に対するセキュリティ構成を自動化して検証し、基準へのコンプライアンスを維持します。
カード会員データの保護		
要件3	保存されるカード会員データを保護する	-
要件4	オープンな公共ネットワーク経由でカード会員データを伝送する場合、暗号化する	セキュリティ設定をテストし、安全でない暗号化アルゴリズム等、規定されたポリシーからの逸脱について警告します。
脆弱性管理プログラムの維持		
要件5	すべてのシステムをマルウェアから保護し、ウィルス対策ソフトウェアまたはプログラムを定期的に更新する	ウィルス対策ソフトウェアがインストールされ実行されていることを検証できます。またコンプライアンスに逸脱した状態で実行されているシステムを検出します。
要件6	安全性の高いシステムとアプリケーションを開発し、保守する	開発環境では、変更管理手順の実行に役立ちます。さらに、監視ルールやポリシーテストは特定のセキュリティまたは監査要件に適用するように調整できるため、開発やQAに柔軟で強力なツールを提供します。
強力なアクセス制限手法の導入		
要件7	カード会員データへのアクセスを業務上の必要範囲内に制限する	認証、権限の設定を含むアクセス制御の使用および変更の監視に関する補足的な監査証跡の維持を支援します。サードパーティー製品の共通設定およびカスタム設定を検知できます。PCIデータを格納するマシンへのローカルログインを監視し、ログイン試行に関するログ情報を収集して不審なログインを検知すると警告します。
要件8	システムコンポーネントへのアクセスを識別・認証する	要件順守に対するログや警告を生成する事ができ、順守のサポートを行います。認証およびパスワードポリシーの検証等はコンプライアンス監査機能の一部として提供され、さらに暗号化の強度、認証情報の有効性をチェックし、あらゆる種類のアクセス再試行に対し警告します。
要件9	カード会員データへの物理アクセスを制限する	-
ネットワークの定期的な監視およびテスト		
要件10	ネットワークリソースおよびカード会員データへのすべてのアクセスを追跡および監視する	ログ収集、レポートの生成および保持の要件を満たし、それらを暗号化して安全に保存します。これによりログの改ざんを防ぎ、誰が会員データにアクセスしたか、どのようなセキュリティイベントがいつ発生したのかを検出する機能を実現します。
要件11	セキュリティシステムおよびプロセスを定期的にテストする	ファイル整合性監視機能は、変更を検知し、各変更をプログラマ的に分析する事で、変更が承認に値し、コンプライアンスにかなったものであるかを判断します。顧客固有のポリシーやプロセスにも適用できます。
情報セキュリティ・ポリシーの維持		
要件12	すべての担当者の情報セキュリティに対応するポリシーを維持する	ポリシー順守の証跡提出をサポートします。システムの変更を検知し、承認された変更であるかを判断し、コンプライアンスの維持に貢献します。

監視対象のシステム要件に関しては、弊社までご連絡ください。